



平成 19 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 大同メタル工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 判治 誠吾
(コード番号 7245 東証・名証第 1 部)
問合せ先 執行役員総務センターチーフ 玉谷 昌明
(TEL. 052-205-1401)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 11 月 15 日の「平成 19 年 3 月期中間決算短信」で公表しました平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~平成 19 年 3 月 31 日) の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日~平成 19 年 3 月 31 日)

(1) 連結

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 15 日発表)	63,200	2,200	2,000	10
今回修正予想 (B)	63,841	2,076	2,170	△426
増減額 (B-A)	641	△124	170	△436
増減率 (%)	1.0	△5.6	8.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	57,700	3,343	3,586	1,310

(2) 個別

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 18 年 11 月 15 日発表)	50,100	3,950	4,100	2,400
今回修正予想 (B)	50,699	4,256	4,669	△13
増減額 (B-A)	599	306	569	△2,413
増減率 (%)	1.2	7.7	13.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期)	47,789	3,915	3,995	1,416

2. 修正の理由

(1) 連結業績予想

- ① 国内連結子会社のエヌデーシー（株）において、錫を始めとした主材料の値上がり及び国内生産体制強化に向けた国内生産拠点の再編に伴う諸費用の増加など、売上原価増加要因が発生し、税引前純損失を計上したことから、繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額で371百万円の利益控除をしたことにより、連結当期純利益の減益要因となりました。
- ② 海外連結子会社の大同メタルコトールAD. (モンテネグロ)において、経営体質の強化を目的に、在庫資産の評価の見直しを実施し、108百万円を特別損失に計上したことにより、連結当期純利益の減益要因となりました。

この結果、平成19年3月期中間決算短信の連結業績予想(以下、連結業績予想という。)に対し、連結対象会社個々の利益増減はあるものの、連結営業利益は2,076百万円(連結業績予想比124百万円減、 $\Delta 5.6\%$)、連結経常利益は2,170百万円(同170百万円増、 $+8.5\%$)の見込みとなりましたが、連結当期純利益におきましては、上記要因により $\Delta 426$ 百万円(同436百万円減)となる見込みであります。

(2) 個別業績予想

当社は、米国の連結子会社である、大同メタルアメリカCORP. (大同メタルベルフォンテンLLC.の持株会社)の株式評価損を、2,733百万円特別損失に計上致しました。

この結果、平成19年3月期中間決算短信の通期業績予想(以下、業績予想という。)に対し、当社グループあがでの利益強化策の効果が寄与し、営業利益は4,256百万円(業績予想比306百万円増、 $+7.7\%$)、経常利益は4,669百万円(同569百万円増、 $+13.9\%$)と、いずれも増益見込みとなりましたが、当期純利益につきましては、株式評価損計上の影響により、 $\Delta 13$ 百万円(同2,413百万円減)の減益見込みとなりました。

なお、この株式評価損は、連結業績に影響は及びません。

以 上